

# 平成 23 年度事業報告

【補助事業】 財団法人 JKA 助成事業

## ◎ 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

在宅聴覚障害者の指導や特別支援教育の中でも特に困難とされている聴覚障害児教育の効果を高めるため、教育機器や研修体制の整備を行い、もって文教、環境その他の公益の増進に寄与する。

### (2) 実施内容等

上記の目的を達成するため下記の事業を実施した。

#### ア FM 補聴システムの無償貸与

この装置は、補聴器を装用した聴覚障害児が、周囲の雑音に妨げられずに音声の聴取を可能にさせるものである。補聴器等の聴能機器専門メーカーリオン株式会社が開発したもので昨年度から貸与を開始したもので、本年度は 50 組を購入して家庭に貸与した。本年度の貸与実績は 50 台で貸与率は 100%であった。

#### イ 両親指導書「聴覚障害児はこの漢字が読めない」（初版）の無償配布

聴覚障害児は聴覚の障害故に音韻表象を身につけることが困難な傾向があり、そのため漢字の読みが苦手である。今般立ち上げた読字力研究委員会が中心となり当協会が 30 余年にわたって続けてきた読字力検定試験の答案を分析し、指導上の対策を指導現場や保護者に提起し、読字力の向上を図ることを意図に「聴覚障害児はこの漢字が読めない」を刊行した。

B6 判 184 頁 1000 部を家庭に配布

#### ウ 移動母子教室の開催

両親教育と幼児の指導、各 2 日間 6 ヶ所で実施

開催地 一宮市、鹿児島市、直方市、水戸市、岐阜市、諫早市で開催。

専門家講師による指導で参加者の日頃の不安が解消されると同時に大きな自信を身につけることができたと好評であった。

補助金額 合計 4,685,000 円